

仲沢氏 やはり個人としてとらえることだと思うのです。だれだれさんという個人としてとらえていかなくてはならない。よかれとやったことが、必ずよい結果になるとは限らない。その人らしさをとらえないと、だめなんです。あの人だったら、こうなんだろうなと、こういう「らしさ」があるというところに焦点をあてて、それを最後まで「らしさ」を維持することが、その方の人間の尊厳なのかなという気がします。

村越氏 お子さんたちが、親の面倒を見ないというのを聞くと、一般に、批判的な目で見やすい。でも、その奥底には、いままで生きてきたこと、してきたことが隠されているようです。親子関係が問題の背景にあったりで、私たちには、なかなか突っ込めない部分なんです。

仲沢氏 行き着くところは、人生そのものを誠実に生きて、感謝して、丁寧に生きていかないと。それが最後に降りかかってくるのかなと思います。

介護というのは正解があるわけではない。もっとゆとりというか、遊び心というのは言い過ぎですが、ユーモアを持って考えていくことが必要ですね。「がんばらなくていい」というコマーシャルのように、気軽に、ユーモラスに考えていかないと。明るくとらえていかないといけない問題ですね。

たって、残したってしょうがないわけですから。思い切って、車椅子でも旅行を楽しむとか。とにかく外に出ることですね。家にいちゃだめです。

村越氏 抱えこまないで、気持ちを共有することで、介護される側もする側も軽くなります。介護される方のお話を伺って「こういうことなんですね」というと、それだけで気持ちが楽になる。やはりコミュニケーションに尽きますね。

染谷氏 これは介護が必要なのではないかと、思ったら、友達や知り合いの方でもかまわないから、話を聞いたり、気軽に相談に行ってほしいと思います。話してみると、あそこに行ってみたらいいんじゃないのと紹介してくれたりして、つながる場合が多いんですね。

仲沢氏 介護状態になってから、デイサービスに行っても、もとの状態に戻るのは難しい。介護を予防するというところから、その前に、デイサービスなどでコミュニケーションをとるのもよいと思います。

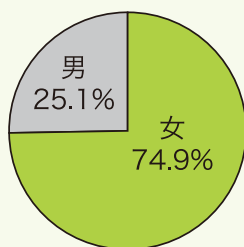


介護のポイント

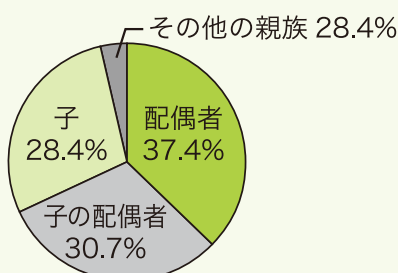
◆大切なことはコミュニケーション

仲沢氏 コミュニケーションの力とユーモアでしょうか。やはり明るくとらえてほしいですね。あとは話半分かもしれませんが、お金は使い切ってほしい。貯め

家族内の主な介護者は依然として女性が多い。

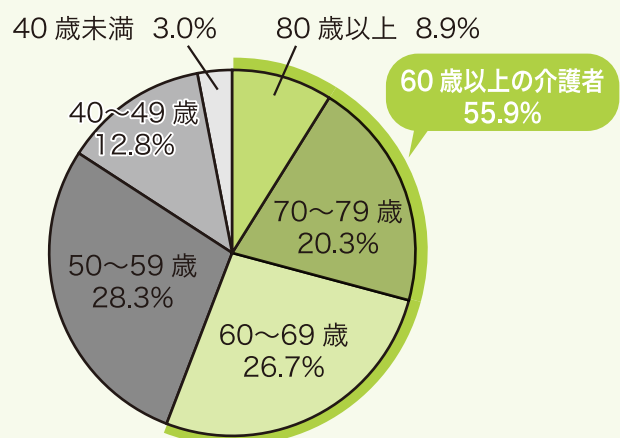


▲ 介護者の男女内訳（同居家族について）



▲ 主な介護者の続柄（同居家族について）

主な介護者の半数以上が60歳以上。
“老々介護”の実態が深刻化している。



▲ 主な介護者の年齢構成
（65歳以上の要介護者と同居する介護者について）

参考資料：「国民生活基礎調査」（厚生労働省、平成16年）